



自治体観測点を対象とした最大加速度比と卓越周期を用いた
加速度応答スペクトル推定手法の検討
-地殻内地震を対象として-

西川隼人¹⁾、宮島昌克²⁾

- 1) 正会員 舞鶴工業高等専門学校、技術職員 博士(工学)
e-mail : nisikawa@maizuru-ct.ac.jp
- 2) 正会員 金沢大学理工研究域環境デザイン学系、教授 工博
e-mail : miyajima@t.kanazawa-u.ac.jp

要 約

本論文では地殻内地震において自治体観測点で消失した地震波形の加速度応答スペクトルを推定するために、従来の研究で用いられている最大加速度比に加え、地震動スペクトルの卓越周期と構造物の固有周期との関係を考慮した応答スペクトル推定手法を提案した。加速度応答スペクトルを推定したところ、最大加速度比、卓越周期と構造物の固有周期との関係をパラメータとした推定式を用いた場合、最大加速度比のみの式に比べて、推定値と観測値の相関が高く、スペクトル形状もおおむね評価することができた。

キーワード： 最大加速度比、卓越周期、加速度応答スペクトル、自治体観測点、地殻内地震